

じばざんまい 地場産米

19日(月)・22日(木)・26日(月)・30日(金)のお米は、柏原市産を
 含む中河内産のヒノヒカリを使用します。

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 1月24～30日は 全国学校給食週間

がっこうきゅうしょく はじ 学校給食の始まりは？

がっこうきゅうしょく めいじ ねん やまがたけの
 学校給食は、明治22年（1889年）、山形県の
 忠愛小学校で、家が貧しい子どもたちへ無償で昼食
 を出したのが始まりとされています。献立は塩さ
 け、おにぎり、漬物といわれています。その後、
 全国各地に広まりました。

がっこうきゅうしょく やくわり 学校給食の役割は？

げんざい がっこうきゅうしょく えいよう
 現在の学校給食は、栄養バランスのとれ
 た食事で、成長期にある子どもたちの健や
 かな成長を支え、食に関する正しい知識と
 望ましい食習慣を身につけるために重要な
 役割を果たしています。

ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん とお がっこうきゅうしょく い ぎ やくわり し
 全国学校給食週間を通して、学校給食の意義や役割などを知って、
 がっこうきゅうしょく かんが きっかけ おも
 学校給食についてあらためて考える機会にしたいと思います。

がっこうきゅうしょく うつ か み 学校給食の移り変わりを見てみよう！

めいじ ねん 明治22年

しりつちゅうあいしょうがっこう
 私立忠愛小学校で
 提供されたとされ
 る給食。

せんごしょうわ ねんだい 戦後（昭和20～30年代）

しえんぶつし だつしふんごう
 支援物資の脱脂粉乳
 や缶詰、小麦粉など
 を使った給食。

げんざい 現在

ちい き しゅん しよくざい い
 地域でとれる旬の食材をとり入れ
 郷土料理や行事食、世界の料理な
 ど、食育の教材となる給食。